

～北海道を元気にする雪・冬の学び～
小学校教員研修セミナー「ここから始まる！雪の実践」を実施
- 教育実践総合センター -

標記セミナーを附属札幌小、北海道雪プロジェクト（雪プロ）との共催で8月2日・3日に実施しました。冬に行っている研究会より内容を一段深めたもので、雪の実践を行ってみたい方を対象としました。道内各地から小学校教員など53名が参加しました。

雪プロが開設しているウェブサイト「北海道雪たんけん館」（<http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp>）を活用した授業づくりやITを活用した授業のあり方をテーマとしました。ICT教育を先導する堀田龍也先生（独立行政法人メディア教育開発センター・文科省参与）と優れた実践家として知られる佐藤正寿（奥州市立水沢小）、笹原克彦（富山市立寒江小）両先生をゲストとして招き、たくさんのご示唆を頂いた。

初日は、「写真冬ズバッ！」（1枚の写真から授業を展開）や英語ページを使った模擬授業を行った。また、ゲストに富山と岩手での実践を交えながら、雪たんけん館を活用するポイントや期待を報告して頂いた。次に、ワークショップでは、参加者が7班に分かれ、除雪、昔の暮らし、冬の服装、家の工夫などを題材に実際に授業作りに取り組んだ。模擬授業形式で発表を行い、大変盛り上がりました。2日目は、堀田先生司会で佐藤・笹原先生vs雪プロで『総合・実践・ITトーク&トーク』と題して、学校で雪たんけん館やITをどう生かすかをテーマとした討論を行った。その後、雪結晶観察法のワンポイント解説をはさみ、堀田先生に「校内にIT活用を広げるコツ」を講演頂いた。講演は現場に即し、説得力ある内容で会場のあちこちでうなずいておりました。また、ワークショップ型研修実施による普及、組写真による授業展開などの宿題を雪プロに頂きました。

受講者の参加の感想は次の通りで、大変好評を頂きました。

- ・「雪たんけん館はすごい！と調べてみていましたが、活用方法がわからなかったのも、とても参考になりました。」
- ・「私でも使えるんだ！ということのを回りに伝えて

いくことで、教育現場が変わっていければ素晴らしいと思いました」

- ・「視覚に訴える授業がここまでわかりやすいのだということがわかりました。」
- ・「ITの活用について、難しく考えていましたが、実はそうでもないことがわかりました。‘私でも’使えるんだ！ということのを自覚し、身のまわりに伝えていくことで、北海道の教育現場が変わっていければ素晴らしいと思いました。」
- ・「初めはいつも参加している研修会と違い、テンションが高く皆さんの意識もとても高く感じられてしりごみしてしまいましたが、大変ためになることばかりで、カルチャーショックを受けました。」

このような行事を行うことができるのは多忙な中をボランティアに参加頂いている雪プロメンバーの先生方の絶大なるご協力のお陰です。地域・学校と連携した事業として、更に充実させていければと存じます。

来年度は明年7月27日（金）に実施予定です。また、第5回「雪の総合的な学習研究会」は2月10日（金）に附属札幌小学校で行われます。多数の参加をお待ちしておりますので、教育現場の先生方や学院生にご案内くださいますようお願い致します。

（高橋 庸哉）



模擬授業の様子

